

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	国際社会関係論				
担当者氏名	中川 洋一				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力					

《授業の概要》

- ・本授業では移民・難民と環境・気候変動問題というテーマを取り上げます。日本社会もまた多文化社会化しており、同問題に対する個人や社会の姿勢が問われています。欧州諸国、オーストラリアや日本等の事例を扱います。
- ・口頭発表や議論の機会を設けます。

《授業の到達目標》

- ・移民・難民や環境・気候保全エネルギー問題に関する基本的知識を獲得し、自分の言葉で説明できる。
- ・口頭発表や議論を通じて、自分の言葉で他者に意思を平易に伝える能力や、異なる価値観を理解する能力を獲得する。
- ・幼稚園や小学校教員としてだけでなく、社会人の一般教養として求められる、国際関係論や政治学に関する基本的知識の獲得

《成績評価の方法》

平常点（授業への積極性、授業中の態度）30%、小テスト10%、期末試験60%。

《テキスト》

なし。講師がレジユメを配布します。

《参考図書》

梅本英樹『よくわかる国際社会学』（ミネルヴァ書房、2011年）。
S. キャスルズ/M. ミラー（関根政美等訳）『国際移民の時代』（名古屋大学出版会、2011年）。
村田等『国際政治学をつかむ』（有斐閣）。

《授業時間外学習》

- ・日頃より各種メディアの報道や書物等を通じて国際社会に関心を持ち、報道内容に注意を払って下さい。
- ・授業中には話を書きとめ、疑問点は授業後に質問し、参考書を頼りに独習する、毎回、授業内容の予復習を行い、学修内容を確認するといった、積極的な「学び」の姿勢が奨励されます。

《備考》

受講者の関心や理解度に応じて、講義の進度や内容を調整します。難しい内容も登場しますが、めげずに勉強しましょう。睡眠、スマートフォンの使用、授業中の入退出等は厳禁です。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の概要／講義の運営についての説明／国際関係論とは何か／アンケートの実施／グローバル化と移民の社会的境界化
2	国際移民をめぐる主要概念	同化と編入、多文化主義／血統主義や出生地主義／ナショナリズムとネーション／人種／エスニシティ
3	国際移民をめぐる主要概念や理論	プッシュ・プル理論／シティズンシップ／移民とジェンダー
4	第2次世界大戦以後の国際移民	労働移民／家族合流と定住
5	国際人口移動のグローバル化	難民／非合法移民／高度技能移民
6	移民と教育	不登校と不就学／同化教育から多文化教育へ
7	移民と政治	ナショナリズムとネーション／エスニシティ／ゼノフォビア・人種暴動／極右政党／右翼ポピュリズム
8	超国家地域統合と人の移動	欧州統合／EUの成員と3つの門／域内国境撤廃／シェンゲン協定／NAFTAにおける国境の強化
9	(西) ドイツ社会と移民	ガストアルバイター／帰化と二重国籍／2015年のシリア難民流入とドイツ社会の混沌
10	日本社会と移民	「オールドカマー」／3K（3D）／「ニューカマー」／日系／昨今の動静／小テスト予定
11	地球環境問題と持続的開発	環境問題の発祥と発展／「静かなる革命」／持続的な開発
12	地球気候保全問題	気候保全レジームの萌芽と展開／2度問題／京都議定書とパリCOP／「エネルギー転換」
13	エネルギー問題	化石燃料／原発エネルギー／再生可能エネルギー源
14	参加者による口頭発表と議論①	地球的問題群に関する様々なテーマについて発表し、議論する
15	参加者による口頭発表と議論②	地球的問題群に関する様々なテーマについて発表し、議論する／半期の授業の纏め